



特集記事 祝開設 在宅介護総合センター やえせ Assemble Garden
 LEADER'S VOICE 外来看護師 副主任 糸洲マールシア
 セクションたより 臨床検査室
 巻末特集 市民公開健康講座 開催レポート

2019
 3月

広報 vol.242

「正確な診断」「適切な治療」「良質な対応」

医療法人 八重瀬会
同仁病院

創立100周年 これからも地域と共に



祝開設 在宅介護総合センターやえせ Assemble Garden

平成31年3月1日「やえせ Assemble Garden」が開設、運営開始となりました。平成最後、令和最初の年のオープンです。構想から約8年、多くの苦労もありましたが無事スタート出来ました。沖縄初の、クリニックを含む、各介護施設、居住施設等9つの施設が含まれる介護総合施設となります。上の写真、各施設のチーフが誇らしげに写っています。お互い協力しながら、地域・周辺に貢献できる、“Assemble” みんなが集まって楽しく充実した“Garden”空間を、(医)八重瀬会の一員としてしっかり作っていきます。どうぞ宜しくお願い致します。

<写真 左から> 小橋川拓也(認知症対応型デイサービス 美ら園 所長)、早川康治(住宅型有料老人ホーム おおひらの丘/サービス付き高齢者向け住宅 おおひらの丘S 副主任)、名嘉原安之(居宅介護支援センター シルバーの里 所長)、親川 渡(デイサービス とどろきの里 所長)、砂川保博(浦添市地域包括支援センター「仁」センター長)、池間幸之介(通所リハビリテーション シルバー園 所長)、具志堅光江(訪問看護ステーション ぐしくま 所長)

デイサービス とどろきの里



私たちは“利用者様、そのご家族様の想いや、生き甲斐を大切に”を目指して日々業務に当たっています。その一環として、利用者様同士、あるいは職員とも本音で話し合う様にしております。時には、意見の食い違いや気持ちのぶつかり合いがある事もありますが、私たちの目標に向けて大事な事だと考えております。

現在、利用者様の交流を通じた憩いの場作りや、リハビリ体操、歌、三線の演奏に合わせた独自のレク活動など、皆様が笑顔の絶えない時間を過ごせるよう、職員全員で力を合わせてケアに動んでいます。

まだまだ至らぬ所はありますが、利用者様・ご家族様が当施設を選んで良かったと思って頂ける様、これからも職員みんなで力を合わせ運営し、併せて「やえせAG」を盛り上げていきたいと思っております。

[所長 親川 渡]

認知症対応型デイサービス 美ら園



大きな期待と小さな不安を持ちながら、この3月“やえせ Assemble Garden”がオープンしました。

昨年の八重瀬会 同仁病院100周年に続き、やえせAG完成といった輝かしい新たな1ページに私自身、直接関わる事が出来、光栄に思うと同時に身の引き締まる思いで一杯です。所長としてまだまだ未熟ではありますが、スタッフ一人一人のしっかりしたサポートを頂きながら職務に動かし感謝する毎日です。

これからもお互い、連携を密にし協力しながら利用者様への良質なサービスが提供できる様頑張っていきたいと思っています。

種々不安もありますが、今後は八重瀬会在宅介護部全体が、大きなチームになって運営されていきます。私たちも、一層モチベーションを上げ責任とプライドをしっかりと携え、どこにも負けない施設を目指したいと思っております。

[所長 小橋川拓也]

訪問看護ステーション ぐしくま



春の芽吹く爽やかな日差しがそそぐ3月、私たちのやえせAssemble Gardenが完成し“訪問看護ステーション ぐしくま”も同仁病院敷地内よりここ大平に移転、気持ちを新たに業務をスタートしています。

八重瀬会在宅介護部の仲間たちと協力し、これまで以上に、利用者様・ご家族様に質の高いサービスを提供すべく頑張っていきたいと思っております。

又、同仁病院との医療、看護等連携が中心となりますが、更に、近隣医療機関、各介護施設とも連絡・連携を密にしながら安全な訪問看護、地域在宅医療を目指して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

[所長 具志堅光江]

浦添市地域包括支援センター「仁」



私たちは、地域住民の皆様が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続できる為に、24時間 365日切れ目のないサービスが出来るよう「地域包括ケアシステム」の構築を八重瀬会在宅介護部の仲間たちと新施設やえせAGで目指します。

高齢者のニーズに応じて、介護サービス、予防サービス、医療サービス、見守り等の生活支援サービス、住まいを適切に組み合わせ提供できるように、地域のインフォーマルを含めた様々な関係機関と連携を図り自助・互助・共助・公助という4つの組み合わせを大事に「地域包括支援センター事業」の運営を行っていきます。

[センター長 砂川保博]

在宅介護総合センター やえせ Assemble Garden

〒901-2113 沖縄県浦添市大平3丁目16番10号
TEL 098-917-1313/FAX 098-917-1321

- 浦添医院（内科・外科・整形外科）
- 浦添市地域包括支援センター「仁」（浦添市委託事業）
- 居宅介護支援センター シルバーの里
- 訪問看護ステーション ぐしくま
- 認知症対応型デイサービス 美ら園（定員12名）
- 通所リハビリテーション シルバー園（定員40名）
- デイサービス とどろきの里（定員40名）
- 住宅型有料老人ホーム おおひらの丘（定員20床）
- サービス付き高齢者向け住宅 おおひらの丘S（17戸 定員19名）
- 富士産業株式会社（給食委託）



住宅型有料老人ホーム おおひらの丘 サービス付き高齢者向け住宅 おおひらの丘S



やえせAG北棟に新設された住宅型有料老人ホーム“おおひらの丘”とサービス付き高齢者向け住宅“おおひらの丘S”を紹介します。入居者の皆様が普段過ごされるリビングの大きな窓からは、緑あふれる景色が一望でき、たくさんの日光を取り込むことで、明るく開放的な雰囲気“おおひらの丘”の自慢です。定員は20床。介護が必要になった方でも、自分らしく安心して、愉しく暮らせる住まいを提供しています。

3階のサービス付き高齢者向け住宅“おおひらの丘S”は、全17戸。すべての部屋にトイレ等の設備を設置し、入居者のライフスタイルに沿えるように配慮。のびのびとリラックスできる生活空間の提供を図っています。

『住み慣れた場所で地域との交流を持ちつつ、穏やかな自分らしい人生を…』地域やご家族・ご利用者様に愛され、信頼され、親しまれる明るい施設を目指します。

※写真はご利用者様です。

[副主任 早川康治]

浦添医院（内科・外科・整形外科）



2019年3月、新たに八重瀬会の施設が開設されました。年号が変わる大きな節目の年に新たな誇り高き出来事となります。建物の完成に向けて設計や運営・会議などプロジェクトメンバーの皆様も大変だったのだと思います。本当にお疲れさまでした。これまで浦添市仲間にありました浦添医院は、人工透析、一般内科などを中心に診療してまいりましたが、今回の移転により透析部門が切り

離されました。新たなスタートとなります。スタッフ一同、やえせ Assemble Gardenの仲間達としっかり連携し、近隣の皆様に対しては、この地域に根差した診療所として受け入れて頂ける様、今まで以上の頑張りで行きたいと思っております。

ご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

[総務室長 平田 健]

通所リハビリテーション シルバー園



平成31年3月1日、念願の『在宅介護総合センター やえせAssemble Garden』が大平にオープンいたしました。

やえせAGプロジェクトが発足して土地の選定、イメージをプランに興す作業、設計のやり直し等様々な意見、アイデアが飛び交う中、何百回と会議を繰り返してきました。私自身、やえせAGプロジェクトの最前線に関わることが出来、大変貴重な経験を積ませていただきました。

従来は、各施設単独の事業所が殆どで、横のつながりや大きな行事立ち上げにはやや難がありました。やえせAGでは9つの事業所が一体となっている為、協力体制が密に取れる事になります。まだまだ落ち付かない状況ではありますが、やえせAG全職員で協力をしながら盛り上げていきたいと思っております。今後のやえせAGの飛躍を楽しみにしてください。

[所長 池間幸之介]

居宅介護支援センター シルバーの里



2019年3月1日、長年待ち望んだ在宅介護総合センターが開業しました。

やえせAssemble Garden（アセンブルガーデン：略称AG）アセンブルとは、集まる、結集するという意味で、この施設は「職員も含め、多くの方が集い、楽しい空間をみんなで創って行こう」という願いを込めて命名されました。シルバーの里は、平成12年介護保険制度が始まった年に開設し19年目を迎えるようとしています。浦添市仲間の地で浦添医院・デイケアと併設して

運営してきました。（医）八重瀬会在宅介護部の事業所が集まるこのやえせAGが開業され、今後、各事業所が、お互い顔の見える関係性を築くことで、さらに連携がとれて強い絆を築くことができると思っています。

これまで築き上げてきたものを大切に、「感謝」の気持ちを忘れず職員一同さらなる研鑽を積み、医療法人八重瀬会の発展のため、地域のために一層お役にたてるよう努めていきたいと思っております。

[所長 名嘉原安之]

移転しました！

居宅介護支援センター とよむ



平成30年12月1日、城間1丁目36番3号はつみ荘102へ移転しました。やえせAGとは一線を画して、同仁病院の側での運営になりますが、やえせAGの仲間たちと連携をしっかりと取りながら対応したいと考えています。

職員は介護支援専門員が4名で介護保険サービスの相談、サービスの調整を行っています。これからも、高齢者へ愛と真心で支援していきたいと思っております。

[所長 仲盛恵美子]



備えあれば憂いなし

皆さんは災害に備えて何か準備していますか？

日本では様々な災害がおきており、2018年の1年間を表す漢字は「災」でしたね。

2015年に行われた自然災害に関する県民調査で「沖縄で近い将来大きな地震・津波が発生すると思っているが、防災の意識は低い」ということが明らかにされたようです。台風慣れ、災害に対する危機感が鈍麻になっている県民性。

私もその中の一人でしたが、一昨年「サバイバルファミリー」という映画を鑑賞して、少しずつ意識が変わり始めました。ある日突然、原因不明の電気消滅により廃墟寸前となった東京を脱した一家の話で、サバイバルコメディですが、その映画を観て「もし自分の身におきたら・・・」という危機感を感じました。是非家族での鑑賞をお勧めします。

私の自宅にある防災グッズは少しずつ増え、災害に関するアンテナを張るようになりました。そんな中、昨年台風24号で初めて24時間の停電を体験。我が家の巨大なウェディングキャンドルが活躍し、準備万端のつもりでしたが、なんと、冷蔵庫の食品を腐らせてしまいました。幸い断水はなかったのですが、改めてライフラインである電気の有り難さを実感させられました。

2月5日に『この差って何ですか？』というテレビ番組で「昔と今の防災常識」について放映されていました。その内容を少し紹介したいと思います。

☆地震がおきた直後

昔：すぐ外に飛び出る

今：耐震規定の変更で建物が頑丈になった為、家の中が安全（玄関がお勧め・出口を確保）

昔：コンロの火をすぐ消す

今：火傷の危険性があるので揺れがおさまってから

（1997年～震度⑤以上で自動的にガスを斜断する仕組みになっている）

☆火災がおきたら

昔：ハンカチを濡らして口にあてて逃げる

今：透明なビニールに空気を入れて頭からかぶる（5分以上は危険）

☆地震に備えて

昔：入浴後の水を溜めて利用

今：入浴後の溜めた水は菌が発生し、感染症の原因になる

その他、災害に関する情報が詰まった「警視庁警備部災害対策課の公式アカウント」も紹介されていました。いつ起こるか予想のつかない災害、地域により防災マップが発行されています。私もそれらを活用し自宅周辺の避難場所や湧き水（カー）巡りをしてみました。思った以上に豊富に流れている川が周りに存在していることがわかり安心しました。因みに、同仁病院では防災対策としてBCP（事業継続計画）を現在策定中です。

今度は病院の周囲を散策しようと思います。皆さんの防災意識を高める事に役立てれば幸いです。

■2019年2月15日～16日 恩納村にある沖縄科学技術大学院大学(OIST)にて第18回日本病院総合診療医学会学術総会が開催されました。大会テーマ「めんそーれホスピタリスト闘魂道場へ」に合わせ、『嚙下障害に対する同仁病院 闘魂への取り組み』を演目に掲げ、当院内科部長・内視鏡センター長の山城惟欣先生を中心に座長を山内裕樹先生(院長代理・整形外科部長)、シンポジストに粟國克己先生(内科)、柏木宏幸先生(内科)、圓谷智之先生(歯科・口腔外科)、真喜屋佳恵氏(言語聴覚士)が、それぞれの専門的視点と臨床から発表させて頂きました。今回の会場となったOISTは、世界最高水準の科学技術に関する研究及び教育を行う大学院です。グローバルなアカデミズムの場で開催し、全国各地から大勢の病院総合医や総合内科医、研修医や医学生が集結した場で、講演できたことを誇りに思っております。今回、発表の機会を頂いた「徳田安春会長」やご協力いただいた「一般社団法人群星沖縄臨床研修センター」の方々へ感謝の気持ちいっぱいです。ありがとうございました。



【地域医療連携室 室長 宇良正一郎】

第4回 八重瀬会研究発表会を開催

REPORT



■2019年2月19日に、平成最後となる平成30年度第4回院内研究発表会が終わった。オーバーな言い方だがこういった時代の節目に、発表部署として薬剤科の発表を終えて、ひとしきり安堵感と発表内容をこういう風にしたらもっと良い発表になったのではないかと、後悔・惜しむ気持ちが不思議と湧いてくる。ふと、以前ラジオで耳にした言葉を思い出す。「もうはまだ(なり)、まだはもう(なり)」と。もうはまだ(なり)・・・とはもう駄目だと思っても、あきらめずまだ何か出来るのではないかと目線を変えて取り組んでみたり、ぎりぎりまで粘る事が結果として良い方向へ導くことがある。また、まだはもう(なり)・・・とはまだ時間があるから、と手を付けずに置いておくとあっという間に期限が迫り、あの時やっていたら後悔に苛まれる。物事へ取り組む姿勢について説かれた言葉だが、ドキリとさせられ、いまだに覚えている。今回の薬剤科の発表について、以前からの化学療法についての取り組みを発表させて頂いたが、もうはまだ(なり)・・・、ぎりぎりまで粘ったことはその通りだが、まだはもう(なり)・・・、まだ余裕があると油断があったことには相違ない。化学療法は今後も引き続き継続して行われる業務の一つなので、継続して今後のより良い発表につなげられたらと思う。 【薬剤科 科長 下地謙三】

■院内研究発表会が2月19日に開催され、HCU・薬剤科・ゆい北病棟の発表があり、どの演題も日頃の業務内容や成果が垣間見られ素晴らしい発表でした。評価や感想は山内院長の総評をいただきましたので、各演題テーマの私見をお話したいと思います。

日本人の死亡原因は1981年より男女ともに悪性新生物(がん)が不動の1位となっています。医療技術の進歩で早期発見や治療の精度が高まる中、入院せず外来での化学療法実施は患者の負担軽減になり、とても需要があることだと思います。当院は県内でも早い時期から地域包括ケア病棟の開設に注力してきました。新病棟を立ち上げるだけでも色々な苦勞があったとは思いますが、地域包括ケアシステムという一筋縄ではいかない事案を盛り込み、軌道に乗せたことに敬服いたします。

重症患者の早期離床について自部署の演題でしたので、スタッフ一同で頑張ったことが可視化され、とても感慨深いものがありました。発表者の山城佑さんは県内初の運動器学会認定看護師の資格を取得し、今後は院内全体や地域貢献など、さらに活躍の場を広げていってくると確信しています。 【HCU 伊波敏彦】



スタッフ紹介

<写真 左から>

新里愛文、畦元 聡(室長)、下地 愛、新城富喜子、松村美枝子

検査内容としましては大きく分けて検体検査（血液検査、尿・便検査）と生理機能検査など多岐にわたり、迅速丁寧で正確な検査を実施しております。

質問等があればその場で対応し、患者さんにより身近に感じて頂けるような検査室を（May I Help You ?の精神）を目指しています。

また、2019年4月より、新規検査項目として神経機能検査を行っています。

主な業務

生理検査 [2階生理検査室]

- *心電図検査（安静/運動負荷）
- *超音波検査（エコー）
- *肺機能検査
- *眼底/眼圧検査
- *血圧脈波検査(ABI/PWV)
- *24時間心電図（ホルター心電図）
- *聴力検査
- *睡眠時無呼吸検査

検体検査 [1階中央検査室]

- *一般検査（尿検査・便検査）
- *血液検査（生化学検査・血液検査）
- *輸血検査



新規導入機器のご紹介

今回当院に『神経機能検査装置 MEE-2000 ニューロマスター G1』、『筋電図・誘発電位検査装置 MEB-9400シリーズ ニューロパック S1』（日本光電）を導入いたしました。

今回の機器導入により、手術中の神経の状態を観察することが（術中神経モニタリング）できたり、神経障害の詳細な検査（神経伝導速度検査）を行うことができるようになります。

<神経伝導検査について>

神経は中枢である脳から四肢の先までつながる線維の束で、例えて言えば電話回線などの通信ケーブル一本の内部が多数の細い線の集合であるのと似た構造をしています。このケーブル（神経）を情報が行き来することで手足を動かすことや、感覚を感じることが出来ます。このとき神経のケーブルを伝わる情報の速度は健常者の場合、ある範囲内にあることが知られています。もし、神経に障害が生じると伝わる速度が低下したり、伝導情報量が減少するといった変化を生じます。神経伝導速度検査はこのような変化を捉えて異常の有無を検出します。



2月21日、毎年1回開催している骨密度測定会を屋富祖公民館で開催しました。骨密度測定に加え、血圧測定、保健指導、運動指導及び百歳体操を行っています。今年は25名の方が参加しました。参加者からは「去年より血圧良くなっているよ!」「今年も欠かさず運動していたよ!」など元気な声が聞かれました。運動が終わった後は、ふれあいサロンの方々に調理して頂いた、栄養満点の食事を一緒に頂き、皆さんと地域交流を図る事が出来ました。

【地域包括支援センター「仁」 池間大輔】



**大好評
放送中**

**て〜げ〜
ドクターK**

F Mレキオ (80.6MHz)
毎月 第1木曜日
17:00~18:00 ON AIR

2月7日OAでは、医事課トリオ（向かって右から山崎氏、柿山氏、比嘉氏）が出演してくれています。かねてからの念願でしたが収録日を第3週目にズラせたことで遂に実現しました。医療事務の仕事内容、やりがいや難しさなど、実体験を交えながら超面白トークしてくれています。柿山氏の宮古三線にける情熱や、比嘉氏のご家族への愛情溢れるオリジナル曲、山崎氏のクラブ通いや中国語講座のエピソードなどで、あっという間の1時間でした。

互助会主催 八重瀬会ソフトバレーボール大会 結果報告

日時：平成31年2月26日 19:00~21:00
場所：浦添市民体育館（参加人数：70人）

- 優勝** 連携室、放射線科、検査室、リハ科混合チーム
- 2位 薬剤科、リハ科混合チーム
- 3位 B病棟チーム



職員の親睦と日頃の運動不足解消を目的に、毎年開催しているソフトバレーボール大会が今年も行われました。応援含め70人の職員が参加し、8チームによるトーナメント形式で、優勝目指して熱い戦いが繰り広げられました。【互助会長/検査室 睦元 聡】



第196回 同仁病院ゴルフコンペ 結果報告

日時：平成31年3月20日 7:00スタート
場所：美らオーチャードゴルフクラブ

- 優勝** 比嘉清志郎（整形外科 医長）
ゴルフ歴12年 愛用クラブ：テーラーメイド
- 2位 山川岩美（放射線科 参与）
ゴルフ歴30年以上 愛用クラブ：本間ゴルフ
- 3位 長濱伸幸（ゲスト）
ゴルフ歴30年 愛用クラブ：本間ゴルフ



熱戦を制し
見事優勝した
比嘉清志郎先生



ベテランの追い
上げ及ぼす2位
山川岩美参与



<ドラコン>

- No. 2 比嘉清志郎
- No. 11 町田宗靖

<ニアピン>

- No. 3 西江昂平
- No. 8 宮城春彦
- No. 12 前田 実
- No. 14 潮平 淳



股関節・ひざ関節の痛みと最新の治療方法



天候にも恵まれた2月10日、浦添市でだこホール市民交流室にて市民公開健康講座『股関節・ひざ関節の痛みと最新の治療法』を開催しました。

308名もの皆様にご参加頂き、当院の院長代理・整形外科部長の山内裕樹先生をはじめ、整形外科医長の比嘉清志郎先生、湘南鎌倉総合病院・人工膝関節センター長の原 憲司先生の講義を熱心に受講されていました。

今後もこのような取り組みを継続し、これからも地域に根ざした医療を目指します。次回にも是非ご期待下さい。



当日のプログラム

1. 切らないで治す股関節痛、切っても筋肉を切らずに治す人工股関節術
(医療法人八重瀬会 同仁病院 院長代理・整形外科部長 山内裕樹先生)
2. わずか1cm!? ここまで治せる関節鏡手術
(医療法人八重瀬会 同仁病院 整形外科医長 比嘉清志郎先生)
3. 切らないで治す関節痛、切っても筋肉を切らずに治す人工ひざ関節術
(湘南鎌倉総合病院 人工膝関節センター長 原 憲司先生)



受講者の声

- ・時々、ユーモアも交えながらの講演で良かった、実際に手術を受ける時もリラックスできるんじゃないかと思いました。
- ・難しい専門的な事も具体的にわかりやすく説明してくれたのが良かった。
- ・家族が手術を検討しているので受講したが、とてもわかりやすく、安心して手術に臨めそうです。
- ・わかりやすく、楽しく受講でき、あっという間の3時間でした。合間のリハビリ体操もすごく良かったです。

研修修了者

- ◇平成31年度 院内感染対策講習会 受講
(一般社団法人日本感染症学会主催 平成31年1月18日/会場:長崎県)
畦元 聡
- ◇平成30年度 医療安全に関するワークショップ 受講
(厚生労働省九州厚生局主催 平成31年1月23日/会場:沖縄県)
池村 富士夫/具志堅 美智子/川邊 慎也
- ◇事例から学ぶ医療事故調査トレーニング 修了
(テルモ株式会社主催 平成31年2月24日/会場:神奈川県)
金城 政美
- ◇2018年度 看護必要度ステップアップ研修
「患者評価データの活用と入退院支援による臨床看護マネジメント
～看護師のマネジメント能力を高める～」 受講
(一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会主催 平成31年2月24日/会場:沖縄県)
又吉 亮子
- ◇アロマセラピーアドバイザー 認定
(公益社団法人日本アロマ環境協会主催 平成31年3月1日/会場:沖縄県)
平良 隆子
- ◇第1回 施設基準管理士認定試験 合格
(一般社団法人日本施設基準管理士協会主催 平成31年3月12日/会場:東京都)
平良 視沙輝

「施設基準管理士という資格制度があるよ」ご提案いただいたのは看護部長でした。

現在、企画室として施設基準を取得、維持管理する業務を行っていますが、地域に密着した医療を行っている当院の経営戦略を立てる為にも施設基準は重要な核となります。今回の施設基準管理士認定試験を受験する際、今まで当院に係る施設基準の要件は把握していましたが、試験勉強ではその他の施設基準の要件も覚えなくてはなりません。ですから、より視野を広げた戦略を練ることが出来るようになります。

1月に行われた第1回の認定試験ですが、施設基準管理士が今後どのような役割を医療機関の中で担っていくのかは、各々の医療機関において多様になると思います。有資格者同士のネットワークができ、施設基準においてその多様な視点と経験を共有出来ることを大変楽しみにしています。

【企画部企画室 平良 視沙輝】

発行者



医療法人八重瀬会 同仁病院

企画室 広報誌制作チーム

〒901-2133 沖縄県浦添市城間1-37-12
TEL 098-876-2212 FAX 098-876-4209



編集後記

新元号『令和』が発表されて、巷ではやれ万葉集がとか、和歌だ太宰府だと盛り上がりを見せつつあるわけだが…『昭和』『平成』『令和』と並べてオセロ方式で考えてみると…「平成は『平和』になるんじゃないか!」と。つまり、平成の時代に起きた数々の禍々しい出来事を経て、学び、感じ、立ち上がって、次の時代の「平和」をつくり出すように!という暗示なのかもしれない。 [晃]

八重瀬会 同仁病院
facebookページ

